

2. 東北（地域別調査機関：（財）東北活性化研究センター）

（－：回答が存在しない、○：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向 関連	良くなる	その他専門店〔白衣・ユニフォーム〕（営業担当）	・これ以上悪くなりようがなく、必ず復興する。
		タクシー運転手	・東日本大震災による災害のために、客も街には出てきておらず、仕事もできない。また、ガソリンを求める客でスタンドには長蛇の列ができています。この状態が続くとは思えないので、現在の状態は改善し、景気は今よりは良くなると予想される。
		美容室（経営者）	・東日本大震災により今が底なので、これ以上落ちることはない。
やや良くなる		百貨店（企画担当）	・東日本大震災後、ある程度落ち着くまでは悪い状態が続くが、衣食住の方向が見えてくれば、一時的に消費は戻ってくると予想される。しかし、その後は低迷が続くのではとの懸念もあり、原子力発電所の事故の収束と政治の舵取りが大きなポイントになる。
		百貨店（販促担当）	・東日本大震災の反動で、春物に後倒しの動きが出てくるのが推測される。ただし、この地震による減産、品薄によって、夏物商戦やクリアランスに影響が出ることが懸念される。
		スーパー（店長）	・品薄の傾向はしばらく続くことが予想されるが、食料品の販売は良くなると見込んでいる。
		コンビニ（経営者）	・物流が正常化すれば、若干持ち直すと予想されるが、ここ数か月は景気の悪化は避けられない。
		コンビニ（エリア担当）	・3か月先は、店舗建物や商品供給に関するインフラ復旧も進み、営業環境はかなり改善すると思われるが、東日本大震災の被害が甚大かつ広範囲にわたっていることを考慮すると、客の消費回復には相当の時間を要し、絶対的な意味で良くなるとはいえない。
		衣料品専門店（店長）	・現状はとても厳しいが、徐々に回復に向かうと予想される。節電などの協力をしながらみんなで頑張れば、消費意欲も高まってくる。
		乗用車販売店（従業員）	・今はガソリンが手に入らず、物流が滞っているので景気は悪いが、2、3か月先には物流が回復し、少しは景気が良くなると予想される。
変わらない		一般小売店〔医薬品〕（経営者）	・東日本大震災の影響で買占めに回ったり、被災地に物を送ったりということで物は動いているが、通常の買物の仕方は変わらないため、良い方に変わる傾向は見られない。
		スーパー（店長）	・物流の回復は見通しが立たず、厳しい状況が続くことが予想される。
		コンビニ（経営者）	・東日本大震災によりこれまでに経験のない状況となっており、先の見通しが全く立たない。
		コンビニ（店長）	・東日本大震災により原油価格は急騰しているが、流通さえ整備されれば、景気が上向くことも考えられる。3月より悪くなることはない。
		衣料品専門店（経営者）	・東日本大震災の影響により、取引先や運送業では売上の大幅な減少が見込まれる。また、被災地では企業の採用取消が懸念されている。そのため、景気回復には時間を要し、元の状態に戻るには1年以上かかると予想される。
		衣料品専門店（経営者）	・東日本大震災による計画停電は今のところないが、実施されれば開店業務に影響を及ぼし、少なくとも半日、場合によっては終日、開店休業を余儀なくされる。
		家電量販店（店長）	・当面、経済情勢は良くならない。
		家電量販店（店長）	・東日本大震災による被害の復興がどの程度進むかによって、景気の回復度合いも変わってくる。
		乗用車販売店（経営者）	・2、3か月後くらいには、経済を回復させるため、現在控えているイベントなども行われるようになると予想している。
		住関連専門店（経営者）	・復興の方に資材関係が流れていくことにより、原材料等が入らなくなり、一般の住宅の完成が遅れてくる。我々家具の方にもしわ寄せが来ることが予想されるため、この先2、3か月は変わらない。
		その他専門店〔呉服〕（経営者）	・問屋の話でも、来客数が少なく売上に困っているようで、最悪の状況が続く懸念がある。
一般レストラン（経営者）	・結婚式や貸切パーティーなどすべてがキャンセルとなっており、見通しが全く立たない。現在は底の状態であり、これ以上は下がりようがないという意味で2、3か月後も変わらない。		

	一般レストラン（経営者）	・必要なものをそろえることで物が動き、多少は景気が良くなると思うが、東日本大震災からの復興は2、3か月では難しく、根本的には変わらない。
	スナック（経営者）	・歓送迎会シーズンの真っ最中だが、予約の8割がキャンセルとなっており、厳しい状況である。ただし、ばらばらと予約が入りつつあるので、少しずつ良くなっていくのではないかと期待している。
	都市型ホテル（スタッフ）	・東日本大震災、津波及び福島第一原子力発電所の事故の影響で、先の見通しが立たず不安である。年単位での復興になるかと思うが、日本という国が大きく変わるチャンスととらえたい。企業にも同じことがいえるかもしれない。
	タクシー運転手	・ガソリンがないため、当社でも会社に出てくる人が少なくなっている。2、3か月後も現在の状況は変わらない。
	通信会社（営業担当）	・客の購買心理は自粛ムードであり、このような状況は当面続く。
	通信会社（営業担当）	・東日本大震災からの復興の進捗状況による。
	設計事務所（経営者）	・東日本大震災の影響で全く先が見えず、本来の仕事にいつ戻れるか分からない。
	その他住宅〔リフォーム〕（従業員）	・東日本大震災に直面し、ライフラインの復旧と余震の心配がなくならないことには、先の見通しが立たない。
やや悪くなる	百貨店（売場担当）	・3月に売れなかった反動で一時的に4月は良くなるかもしれないが、東日本大震災の影響はまだ大きく残ることが予想される。
	百貨店（経営者）	・消費マインドの低下により節約志向は一層強まり、不要不急のものは買い控えると予想される。また、企業業績の悪化により個人所得も低下する。
	百貨店（経営者）	・東日本大震災からの回復は、小売業、特に百貨店が最後なので、日常の食品や生活消耗品以外のぜいたく品の回復は当分見込めない。
	スーパー（総務担当）	・今のままでは希望が見えないので、景気の失速は避けられない。東日本大震災による職場喪失、工場倒壊、建物、設備及び機器類損壊で、事業の稼働率は落ちる。また、雇用調整も始まる。失業保険の給付期間の問題もあるが、このままでは失業者が増加し、消費の失速により景気はますます悪化する。被災地復興と被災者の救援、インフラ整備事業の早急な実施を期待したい。特に、福島第一原子力発電所の事故の早期収束とともに、放射線漏れによる広域な農産物の出荷及び摂取制限を一律で括らず適正な法改正が必要である。計画停電による営業、生産活動への制約も極めて深刻である。知恵を出して復興への投資に結び付くような政策を期待する。
	コンビニ（エリア担当）	・東日本大震災後は、商品供給体制の回復に目途が立たないため楽観できない。
	コンビニ（エリア担当）	・先行きが不安定なため、より一層の節約志向が続く。商品に関しても、販売構成比が高い国産たばこの数量が確保できないため、来客数は2、3か月は戻らないことが予想される。
	家電量販店（店長）	・東日本大震災の影響が出てくることが予想される。
	乗用車販売店（経営者）	・メーカー工場の生産再開の目途が立たないなか、状況は更に悪化することが予想される。
	乗用車販売店（経営者）	・被災地とは異なり、東日本大震災による直接の影響はないものの、買い控えなどが増えることを懸念している。
	観光型ホテル（経営者）	・東日本大震災の影響により、4～8月ごろまでの予約について取消や日程変更の電話があり、8割方が取消の電話となっている。先の見通しが立たない。
	通信会社（営業担当）	・東日本大震災の影響により、3か月先は見通しが立たず、景気は悪化する。
	通信会社（営業担当）	・東日本大震災の影響で景気が更に低迷する懸念がある。
	美容室（経営者）	・燃料の値上げに伴い、パーマ液等も値上げしているなかで、客への価格転嫁は難しく、景気は悪化する一方である。
	悪くなる	商店街（代表者）
商店街（代表者）		・現在、ガスは停止しており、JR等の交通機関も完全復旧していない。食品やガソリン等、物流が徐々に回復に向かっているが、それでも相当厳しい状態が続くことが予想される。
商店街（代表者）		・当地域では、新幹線開業記念のイベントが多く予定されていたが、東日本大震災の影響でキャンセルが相次いでいる。このような状態が長期化するのではないかと懸念している。

商店街（代表者）	・商品の流通が回復せず、雇用も減少しており、見通しは暗い。
商店街（代表者）	・集客のためのイベント自粛など、目立った施策が打ち出せず、弱含みの動きになる。
一般小売店〔書籍〕（経営者）	・東日本大震災の影響で営業店舗稼働率が低下していることに加え、ガソリンの供給や電力の復旧がままならず、物流に支障をきたしており、相当な日数がかかっても、どこまで復旧できるか分からない見通しとなっている。
一般小売店〔酒〕（経営者）	・当店は売上の多くをたばこが占めているため、たばこが入荷しないことには改善しない。
一般小売店〔スポーツ用品〕（経営者）	・燃料関係や物資の需給がある程度戻ったとしても、今後、どのような事態が起こるかが問題である。前年比70%までの回復が精一杯と予想される。
一般小売店〔医薬品〕（経営者）	・東日本大震災により、繁華街も一部危険区域となったり、古いビルに修理が入ったりしている。また、現在もガスが来ておらず、復旧には非常に長い時間がかかることが予想される。夕方から夜にかけての人出も全然なくなっており、景気は悪くなっていくことが予想される。
一般小売店〔医薬品〕（経営者）	・東日本大震災の影響で、企業の解雇も広がるだろうし、計画停電は今後も続けられることが予想される。何を見ても経済が悪化する要因ばかりで、国の経済状況は下落傾向にあると思われる。さらに東北地方は、混乱とともに疲弊に拍車がかかり、地震前よりも一段と悪化することが懸念される。
一般小売店〔寝具〕（経営者）	・東日本大震災の影響が大きく、先のことは全く見えず、不安な状況である。
一般小売店〔雑貨〕（企画担当）	・計画停電や福島第一原子力発電所の問題、電車が正常に動かないことなどにより、将来に対する不安も起こっている。そんななかで、個人消費は再び厳しい局面に入っていくかざるを得ない。
百貨店（売場主任）	・客はまだ買物をする気にはなれないと思われ、特に衣料品は買い控えが加速する懸念がある。今後どうなるか見当がつかない。
百貨店（広報担当）	・東日本大震災の復興にはかなり長い時間を要する。
百貨店（営業担当）	・顧客が通常の生活に戻るまでの期間、物流が正常に戻るまでの期間が不透明のため先が読めない状態となっている。今後しばらくは顧客の購買意欲が上がる要素はなく、商品の動きは生活必需品を中心とした動きにとどまると思われる。
百貨店（経営者）	・売上レベルが回復せず、持ちこたえられない業種や企業が続出することが予想される。
スーパー（経営者）	・沿岸部、内陸部共に流通店舗が壊滅状態にあるのに加え、ガソリンの供給状況も非常に悪化しているため、購買力は低下する。壊滅状態の店舗が元の状態に戻るまでは1年近くかかることが予想され、年内は現在のような状況が続くことが予想される。
スーパー（経営者）	・地震、津波、さらには福島第一原子力発電所の事故の影響で、先行き不安による買い控えが更に深刻になることが懸念される。
スーパー（店長）	・東日本大震災の特需は落ち着いたが、メーカーなども被災しており、復旧には大変な時間を要する。今後は必要なものを必要なだけ供給できない場合も多くなることが予想される。命は助かって、住まいや職場を失った人も多く、景気はますます冷え込む。
スーパー（店長）	・東日本大震災による影響が出てくることが予想される。
スーパー（販促担当）	・東日本大震災及び福島第一原子力発電所の事故の影響で商品の入荷が不足しており、交通機関を含むインフラの復旧が進まなければ、景気回復には相当の時間を要する。
コンビニ（経営者）	・今後、ガソリン等の燃料や農作物の価格の高騰が続けば、景気はますます悪くなっていく。
コンビニ（経営者）	・就労時間の短縮により、当店のアルバイトも1人当たりの働く時間が50%近く減っている。また、客の話を聞いても、まだ仕事に就いていない人が大半である。今後も就労時間の短縮や、働き口がなくなる人が出てくる公算が大きい。したがって、消費の低迷が続き、景気は悪くなる。
コンビニ（エリア担当）	・被災した店舗を復旧するには多額の費用と時間を要し、先は全く見えない。
コンビニ（エリア担当）	・今後、東日本大震災の影響がどのように出てくるのかは不透明である。壊滅的な被害を受けている地域もあるなかで、客の動きもこれまでとは全く違くなることが予想され、先行きが見えにくい。
衣料品専門店（経営者）	・東日本大震災のショックが癒されるまで、洋服などし好品に対する購買意欲は全くわかないことが予想される。

衣料品専門店（店長）	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな意味でダメージを受けている時期なので、消費が活発になるとは思えない状況である。少しずつ回復してくるとはいえ、3か月くらいでは目途が立たないのではないかと予測している。当店も大きな改装をしたり、店舗の養生しながら客の景気回復を待つことになると思うが、回復には半年から1年くらいかかるのではないかと認識している。
衣料品専門店（店長）	<ul style="list-style-type: none"> ・東日本大震災後は生活必需品関係を中心に動いており、衣料品に目が向けられるのはもっと後と思われる。特に嗜好性の強い商品は従来のような動きは見込めず、今後の見通しは厳しい。
衣料品専門店（店長）	<ul style="list-style-type: none"> ・東日本大震災により、ビジネスマンの購買モチベーションが大幅に低下することが予想される。
乗用車販売店（経営者）	<ul style="list-style-type: none"> ・燃料不足で適切な手段が講じられず、社員並びに客の救援を含め、ほとんど手つかずの状態となっている。この状態はしばらく続くことが予想される。初動段階における国の対策に憤りを感じている。また、復旧に向け、対策を実行に移しつつあるが、現状では全く目途が立たず、経営の根幹を揺るがす事態となっている。あえていえば、復旧、復興に向けた需要の発生が予想されるものの、これからはリーマンショック直後以上の落ち込みが予想される。
乗用車販売店（経営者）	<ul style="list-style-type: none"> ・発注済みの車両の入荷見込みが立たない。
乗用車販売店（経営者）	<ul style="list-style-type: none"> ・物流の完全復旧はまだ遠く、見通しも立っていない。
住関連専門店（経営者）	<ul style="list-style-type: none"> ・東日本大震災で建物に被害を受けたが、それに加え、間接被害の影響が出てきているため資金的に大変な状況となっており、この後も売上が減少するのは確実である。すべての消費が停滞している悪循環は政治の力でしか断ち切ることができないのではないだろうか。
その他専門店 [パソコン]（経営者）	<ul style="list-style-type: none"> ・新年度の動向をつかみきれないなかで、地方では購買意欲はあるものの、東日本大震災及び津波災害のダメージにより、消費者のお金の使い方はシビアにならざるを得ない。客の欲しい商品が不足して売れない状態であり、悪い方向に回転しはじめている。
その他専門店 [酒]（経営者）	<ul style="list-style-type: none"> ・今の状況では全く見通しが立てられない。いつになれば東日本大震災前の状況に戻るのか、人が動くようになるのか全く分からず、閉店を余儀なくされる飲食店が多数出てくることが懸念される。
その他専門店 [食品]（経営者）	<ul style="list-style-type: none"> ・東日本大震災の影響により自粛ムードが広がっていることに加え、福島第一原子力発電所の事故で人の流入が東北全体で激減することが予想される。
その他専門店 [靴]（経営者）	<ul style="list-style-type: none"> ・この2～3か月では通常の生活には戻れない。
その他専門店 [酒]（営業担当）	<ul style="list-style-type: none"> ・東日本大震災後、月末に向けて少しずつ落ち着きを取り戻してきているものの、今後しばらくの間、仙台を中心とした東北の被災地の需要はほとんどないと考えられ、長期にわたって厳しい状況が続くことを覚悟しなければならない。
その他専門店 [ガソリンスタンド]（営業担当）	<ul style="list-style-type: none"> ・東日本大震災の復興需要が出るかどうか福島第一原子力発電所の復旧次第のため、先が見えず、現時点ではとてもではないが良いほうに向かうとは考えられない。
その他専門店 [ガソリンスタンド]（営業担当）	<ul style="list-style-type: none"> ・福島第一原子力発電所の事故の影響による風評被害がかなり多くなっており、再建の見通しが立たない。政府が早い対策を打たなければ立ち上がることができないような状況となっている。福島第一原子力発電所は国が認めて建設されたわけだから、責任をもって行動してほしい。
高級レストラン（経営者）	<ul style="list-style-type: none"> ・見通しが全く立たない状況である。劇的な回復は考えられない。
高級レストラン（支配人）	<ul style="list-style-type: none"> ・休館が長引けば雇用の問題も発生し、福島第一原子力発電所の事故の風評被害も広がり、事業所を撤退する企業が出てくるとも予想される。東日本大震災発生前の状況に戻るには数年かかり、戻らない可能性も大きい。
一般レストラン（経営者）	<ul style="list-style-type: none"> ・当店は23日より営業しているが、交通機関やライフラインが復旧していないため、来客数はかなり少ない。このような状況から、経済もかなり悪くなることが予想される。
一般レストラン（経営者）	<ul style="list-style-type: none"> ・周りには小さな会社や個人で仕事をしている人も多く、廃業に追い込まれる人が出てくるのが予想される。そういった状況のなかで、ここ2、3か月は最悪の状態となることを覚悟している。
一般レストラン（スタッフ）	<ul style="list-style-type: none"> ・東日本大震災の影響で財布のひもはますます固くなり、更に景気が悪くなるのが予想される。

	一般レストラン（支配人）	・ある程度復旧したとしても、自粛ムードが強い飲食業は、客足がなかなか戻らない状況が続くと予想され、売上が元に戻るまでには相当な時間を要する。また、解雇や雇止めがあちこちで聞こえ始めており、東日本大震災の影響で雇用状況が更に悪化する。
	その他飲食〔弁当（スタッフ）〕	・東日本大震災の影響で商品が潤沢に入っていないことに加え、市内中心部のほとんどの店で閉店時間が早まっており、売上が落ち込んでいる。この先も節電が必要な状況が続けば、景気はますます悪くなっていく。
	観光型ホテル（スタッフ）	・東日本大震災の影響がどのように出てくるか予測できない状況である。今後あらゆる対策をとっていきたいと考えているが、風評被害により観光客が来るようになるか不安である。
	観光型旅館（経営者）	・相当期間、観光客の入込は望めない。東日本大震災に加え、福島第一原子力発電所の事故により関東以南からの客も期待できない。また、宿泊はもちろんサービス関連事業は相当な売上減で、資金繰りの極端な悪化による従業員の解雇も始まっており、地元の経済的な打撃はとて大きく、長期化することが予想される。
	観光型旅館（スタッフ）	・東日本大震災からの復興の見通しがつけば、国内旅行は動き始めると思われるが、福島第一原子力発電所の事故に関しては、安全宣言が出るまで旅行ムードは回復しない。また、事故により、数年間、インバウンドは期待できず、東北地方そのもののイメージが悪くなる懸念がある。
	都市型ホテル（経営者）	・婚礼などでもキャンセルが相次いでおり、東日本大震災により消費マインドが極端に落ちている。加えて、JRの復旧が4月中とはなっているが、はっきりとした目途が立っていないなど、交通網の麻痺は続く。また、福島第一原子力発電所の事故により当地域で開催される予定のものがほとんどキャンセルとなっており、大変厳しい状況となっている。事故の風評被害により、景気の変更悪化は避けられない。
	都市型ホテル（スタッフ）	・この先、確実に物資が入ってくるとはいえず、来客数の減少が止まらず、宴会もなく、婚礼もなく、今以上に悪くなるのではないかと心配している。2か月くらいでは回復せず、回復は夏前くらいになるのではないかと。
	都市型ホテル（スタッフ）	・東日本大震災により、売上が大きい一般宴会が自粛傾向にあり、今後も新規受注は望めない。レストランや宿泊だけではこの先厳しい。
	都市型ホテル（スタッフ）	・現在、先々の予約についても確認しているが、当面の間、利用の可能性も少なく、先の見通しは立たない。
	旅行代理店（従業員）	・復興の状況が全く不透明であり、兵庫県南部地震や新潟県中越沖地震の際の状況を見ても、この先6か月くらいは客は戻ってこない。
	旅行代理店（従業員）	・東日本大震災の影響が一段落し、レジャーにお金回ってくるのはまだ先になる。
	タクシー運転手	・東日本大震災の影響は大きく、先行きをどうこういえるような状況ではない。
	通信会社（営業担当）	・東日本大震災の影響でますます不景気になる。雇用不安、先行き不安などがある限り、経済が上向くことはない。
	通信会社（営業担当）	・復興の見通しが立っておらず、厳しい状況がしばらく続く。
	観光名所（職員）	・団体の予約もなく、自粛ムードが解けない限り、現在の状況からは抜け出せない。
	観光名所（職員）	・東日本大震災による悪影響は数年に及ぶ可能性がある。
	遊園地（経営者）	・東日本大震災の被害に福島第一原子力発電所の事故が加わり、景気の回復にどれくらいの時間がかかるか見通せない。学校、団体のキャンセルも相次いでいる。当面は企業防衛をしつつ存続を図っていききたい。
	競艇場（職員）	・東日本大震災の影響が続く。
	その他サービス〔自動車整備業〕（経営者）	・全く先が見えない。特に、福島第一原子力発電所の事故はその後の流通にも大きな影響があると予想される。
	住宅販売会社（経営者）	・国が発注済みの工事及び発注予定の工事がすべて中止もしくは延期となっている。今後も公共工事全般で同じ傾向が想定される。
企業 動向 関連	良くなる	—
	やや良くなる	—
	食料品製造業（総務担当）	・東日本大震災による需要不足は徐々に改善すると予想される。
	建設業（従業員）	・建設業の東日本大震災による特需を期待している。
	建設業（企画担当）	・今後は東日本大震災からの復興に伴う工事が中心となる。

	金融業（広報担当）	・東日本大震災からの復興に向けた動きが徐々に本格化する。
変わらない	土石製品製造販売（従業員）	・東日本大震災のため、建設関係の発注が急遽発生しており、今後、復興に伴う設備事業が多くなる見通しである。
	建設業（経営者）	・工事は増加傾向にあるが、資材の納期不明や値上がりが出ており心配している。
	通信業（営業担当）	・好況へ向かう要素が見当たらない。
やや悪くなる	食料品製造業（総務担当）	・東日本大震災の影響で、全国的にし好品の消費が落ち込んでいくことが予想される。燃料や原料の値上がりの影響で収益面でも一層厳しくなる。
	電気機械器具製造業（企画担当）	・東日本大震災により、生産量及び需要が減少しており、すべて悪い方向にシフトする。
	金融業（営業担当）	・先の見えない状態が続く。
	司法書士	・不動産取引の多くは、東日本大震災により中止もしくは延期される。
	金属工業協同組合（職員）	・東日本大震災や福島第一原子力発電所の事故、計画停電等で、製造業の稼働が減少、停滞しており、正常化にはなお時間を要する。
	農林水産業（従業者）	・福島第一原子力発電所の事故により、当地域の農産物が放射性物質に汚染されたと全国に報道されているため、今後、果物も風評被害で売れなくなるのではと心配している。
悪くなる	農林水産業（従業者）	・東日本大震災の影響で、農機具用の燃料調達に支障がある。また、放射性物質の汚染による風評被害についても予断を許さない。
	食料品製造業（経営者）	・2、3か月では、東日本大震災の影響で減った当地を訪れるビジネスマンや観光客といった主要な客が戻る見通しは立たない。
	食料品製造業（経営者）	・東日本大震災の復興には相当の時間を要する。
	木材木製品製造業（経営者）	・住宅部材は、東日本大震災の影響による関連製造ラインの立て直しのためバランスが崩れ、販売量、収益共に、今後3か月程度は悪化する。
	出版・印刷・同関連産業（経営者）	・一時的な復興特需はあるだろうが、全体のパイが小さくなっているため、売上は大幅に減ることが予測される。
	出版・印刷・同関連産業（経理担当）	・東日本大震災の影響で廃業あるいは避難している取引先もあり、今後、仕事はなかなか戻らない。また、原材料の紙が入ってこないため、生産活動ができない状況が続く。
	一般機械器具製造業（経理担当）	・自動車部品については、東日本大震災により4月以降の売上が激減することが予想される。先の見通しが全くたない状態である。
	電気機械器具製造業（営業担当）	・中小企業が再建を模索するなか、取引先の変更を通告され、立ち行かなくなる企業が増えることが予想される。
	輸送業（経営者）	・市内の工場、荷主の回復、操業再開に数か月を要するため、その間の当社の営業収入は4割以上減少する見込みである。
	通信業（営業担当）	・東日本大震災及び福島第一原子力発電所の事故による影響で経済活動が低迷する。
	広告業協会（役員）	・今後の復旧状況にもよるが、広告需要の回復には相当の時間を要する。業界挙げて復興支援キャンペーンを実施し、経済活動の早期立て直しを図りたい。
	広告代理店（経営者）	・携帯電話など、いわゆる通信以外は福島第一原子力発電所の状況を見ている状態である。東北地方の広告業界において、過去に経験したことのないオーダーストップの状態となっており、先が見えない。
	広告代理店（経営者）	・デスティネーションキャンペーンなど、広告の自粛は続く。また、来年に行われる予定の同様のキャンペーンも、開催が正式に決定されていない。
	経営コンサルタント 公認会計士	・2、3か月では復興の緒にも就けない。 ・東日本大震災による影響をクライアントに聞いてみたが、ここ2～3か月は売上が上がらないだろうとの声が多い。
	コピーサービス業（経営者）	・東日本大震災のため、2、3か月先の景気の状態は予想がつかない。
	その他非製造業〔食料品卸売業〕（経営者）	・被災地はもとより、首都圏における計画停電やイベント等の自粛ムードのため、一般的な業務用市場において、今後しばらくは大幅な需要の縮小が予想される。
	その他企業〔工場施設管理〕（従業員）	・東日本大震災により、取引先の工場では建屋及び製造工程内に被害が発生し、工事業者やベンダーによる補修、修理等を急いでいるものの、材料等の入荷が遅れ復旧工事はなかなか進まない。また、節電要請等もあり、地震発生後から工場従業員の5、6割は自宅待機の状態、生産は一部のラインに限られている。そのため、元の生産量に戻るには相当な時間を要する。

雇用 関連	良くなる	人材派遣会社（社員）	・東日本大震災の影響であらゆる消費が活発になってきているなかで、当面は復興支援と相まって人材需要の高まりが予想される。
		人材派遣会社（社員）	・水産加工業や石油卸など沿岸部に拠点を持っている企業の復旧はかなり長期化することが予想されるが、それ以外の企業については、事業の被害の全体が把握できたところから求人活動が再開される可能性が高い。
	やや良くなる	人材派遣会社（社員）	・東日本大震災の復興特需が見込まれる。
		職業安定所（職員）	・多少は回復するが、東日本大震災前の状況まで回復するのは難しい。
	変わらない	職業安定所（職員）	・新規求人は引き続き増加基調で推移するが、東日本大震災の影響を受けた事業所もあり、企業間格差が生じる。
		職業安定所（職員）	・東日本大震災の影響の出方が業種により異なり、先行きは不透明である。
	やや悪くなる	職業安定所（職員）	・東日本大震災の影響で、被災地だけでなく直接被害のなかった地域でも、宿泊業等で人員整理等の雇用調整を実施する事業所が増えており、このような状況がしばらく続く。
		職業安定所（職員）	・新規求人数は前年同月比で4か月連続で減少となり、月間有効求人数は3か月連続で減少している。有効求人倍率はわずかずつの減少傾向に一服感が見られるが、今後の動向については予断を許さない状況である。
		職業安定所（職員）	・東日本大震災の影響による雇用調整の動きは当面続く。
	悪くなる	人材派遣会社（社員）	・東日本大震災により、当社の派遣社員数人が亡くなっている。また、派遣先企業の多くがまだ業務正常化に至っておらず、極端に悪くなる。
人材派遣会社（社員）		・東日本大震災からの復旧には相当の時間を要する。	
アウトソーシング企業（社員）		・東日本大震災による大きな災害の後では良くなるわけがない。	
求人情報誌製作会社（編集者）		・東日本大震災の影響が続く。	
新聞社〔求人広告〕（担当者）		・2、3か月で回復するような状況にない。一部の飲食店や流通で細々ながら開店はしているが、本来の姿ではない。水産業は壊滅し、津波による塩害で稲作等にも大きな影響が出ており、メーカー等も壊滅状態となっている。さらに、福島第一原子力発電所の事故が追い打ちをかけている。いわゆる産業等が活性化しない限り、求人を含め、景気の回復は当面見込めない。	
新聞社〔求人広告〕（担当者）		・東日本大震災による影響は計り知れず、売上見通しが全く予測できない。福島第一原子力発電所の事故の今後の展開にもよるが、新年度上期は前年比50%程度が見込まれる。	
新聞社〔求人広告〕（担当者）		・東日本大震災での甚大な人的、物的損害により、県内経済は大打撃を受けているため、景気は想定できないほど悪化する恐れがある。	
新聞社〔求人広告〕（担当者）		・東日本大震災による影響は予想できないが、景気は悪化する。	
職業安定所（職員）	・それぞれの担当窓口には、東日本大震災による事業所閉鎖の情報が入ったり、雇用調整助成金の問い合わせが殺到したりしている。		
職業安定所（職員）	・東日本大震災以降、雇用調整助成金等の相談が増大している。		